

互惠便り 第57号

残暑お見舞い申し上げます

栗林公園

写真撮影 大川工場 奥野 武

夏の朝に咲く蓮

夏の朝、水面から茎を伸ばして咲く蓮の花を見ると、暑さの中にも涼しさを感じます。

蓮の花は早朝に開き、昼頃には閉じてしまいます。それを数日繰り返したのち、花びらを落とすのだそうです。朝早く蓮を見に出かける人が多いのにも、そんな理由があるのですね。

蓮は泥の中に根を張り、水面に花を咲かせます。その姿は、遠い昔から人々の心を惹きつけてきました。

今年の夏も厳しい暑さが続いています。そんな中、草むしりや庭仕事、墓地公園の管理、お墓の建立や修繕と、それぞれの持ち場で仲間たちが汗を流しています。

今号では、お客様に喜んでいただくようと、声を掛け合いながら働く仲間たちをご紹介します。蓮の花とともに私たちの夏の仕事ぶりも、ぜひご覧ください。

今月の読みもの

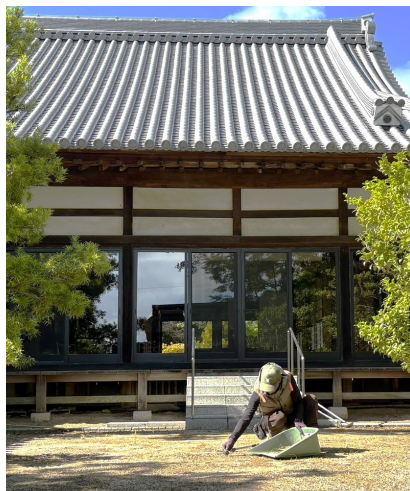


吉見さん、 実は神職でもあります

「やすらぎの杜」の管理を担当している吉見さん。神職として、地鎮祭をはじめ、人形のお蔵いや井戸じまい、墓じまいなど、地域のさまざまな神事にも携わっています。

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社

〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



笑顔で声を掛け合い、みんなで乗り切った夏

お世話になっております。本部長の牟禮です。

今年の夏も、各チームが「お客様のお役に立ちたい」という思いを胸に一生懸命取り組んでくれました。

今年は梅雨らしい雨の日が多く、本格的に暑くなり始めたのも昨年より少し遅かったように感じます。それでも7月中旬からは猛暑が続き、現場では厳しい暑さの中での作業となりました。

厳しい暑さの中でも仲間と支え合いながら

昨年の長く厳しい猛暑を思えば、今年は少し良かったのかなと思います。それでも、暑く体力的にも大変な状況の中で、仲間同士が声を掛け合い、楽しそうに仕事をしている姿が、とても印象に残った夏でした。

私自身、何度かチームの応援に入りました。その中で、あ

る時お客様から、「皆さん、楽しそうな雰囲気が出ていいですね。」と声をかけていただいたことがありました。

笑顔と声掛けで

乗り切りました！

暑い中での作業は決して楽ではありません。それでも、仲間を思いやりながら声を掛け合い、笑顔で仕事をしている姿は、私たちが思っている以上にお客様にも伝わっているのだと感じました。

何より、メンバー誰一人として倒れることなく、みんなでこの夏を乗り切ることができたことを嬉しく思っています。これも一人ひとりが体調に気を配りながら、お客様のために頑張ってくれたおかげです。

まだまだ残暑が続きますが最後まで気を抜かず、全員で力を合わせて頑張ってください。これからも皆さまのお庭をきれいに、気持ちよく保てるよう、スタッフ一同頑張っています。必要な時はお声がけください。

グリーンメモリー事業本部長
牟禮英則

家から眺める、心安らぐ坪庭づくり S様宅「デザイン坪庭」の施工工事

アキホ・タタさんにデザインと施工を依頼した新たな仕事が完了しました！

今回は、草むしりの仕事から繋がったご縁で、新たに坪庭をつくらせていただいた事例をご紹介します。

きっかけは、藤澤リーダーのお兄さんからのご紹介です。お兄さんのご友人が旧家をリフォームすることになり、「せっかくなら家の雰囲気に合った坪庭をつくりたい」とご相談をいただきました。

そこで、デザインと施工は、

アキホ、タタさんをお願いしました。まずは完成後の姿をお客様にイメージしていただけるよう手書きの図面を作成し、それをもとに一つひとつ丁寧に形にしていきました。

そして完成したのが、石や砂利、植栽を組み合わせた、落ち着いたある坪庭です。お客様にも出来栄を大変喜んでいただくことができました。

家の中からふと庭を眺める。そこに緑や石の風景があるだけで、気持ち落ち着き、心が安らぐことがあります。

私たちの仕事も、草むしりやお庭のお手入れから、少しずつその先へと広がっています。これから、お客様の暮らしに寄り添い、「家から眺めて心安らぐ庭」をつくるお手伝いもしていきたいと思っています。

お庭のことで「こんな庭にしてみたい」とご希望がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



石材 施工チーム也大奮闘しています！



新墓の建立が 続きました

8月。今月の久米山墓地公園は新しいお墓の建立が続きました。

一つ目は、奥様のご実家のお墓が黒御影石の洋墓ということもあり、そのお隣に、ご主人様ご家族のお墓も同じ黒御影石で建立いたしました。

建立にあたっては、「どのような字体がいいでしょうか」と施主様と当社の字彫課スタッフがじっくり相談。ご家族の想いを形にしていきました。

完成後には施主様にもお越しいただき、仕上がりをご確認いただきました。「思い描いていた通りです」と喜んでいただき、私たちにとっても嬉しい完成となりました。

二つ目は、機械が入れない場所だったため、すべて手作業での施工となりました。重たい石を扱う作業は、二人の息がぴったり合っつてこそ安全に進められます。声を掛け合いなが

ら、一つひとつ丁寧に積み上げ、無事に完成しました。

建立当日は、娘様が姫路からお立ち会いのために帰省してくださいました。お母様がこちらで一人暮らしをされていることもあり、普段からよく帰ってこられるそうです。

大切な人を 想う場所をつくる

11月頃にはお父様のご納骨を予定されており、その時にはお孫様も姫路から帰省され、ご家族皆様で手を合わせられるとのこと。これからこのお墓が、ご家族が集まり、大切な方を想う場所になっていくのだと思います。

今月は、この他にも新墓の建立がありました。大切な場所をつくるお手伝いできたことを、私たちも嬉しく思います。

まだまだ暑い日が続きます。熱中症対策をしっかりとしながら施工部一同、安全第一で頑張ります！

石材事業部一同

もうすぐ完成です！

新しい樹木葬区画

草むしりのメンバー同様、この猛暑の中、完成に向けて黙々と汗を流してくれている施工チームの皆さん。本当にお疲れ様です！

いよいよ完成も間近です。お盆休暇の直前まで工事に奮闘していたこの日、施工チームからは思わず「空調服の意味がないほど、殺人的な暑さや」との声。そんな言葉が出るほどの厳しい暑さでした。

そこで、これからお客様のご希望にお応えできるように、Cタイプだけの新しい区画の整備を進めてきました。

久米山墓地公園「やすらぎの杜」では、樹木葬Cタイプを希望される方が多く、最初に整備した区画はほぼ完売となりました。



お花は「日日草」



この夏の樹木葬



田岡

安部

三浦





「草むしり日記」 No.77

今年の夏も ご利用ありがとうございました！



残暑お見舞い申し上げます！

この夏もたくさんのご依頼をいただきました。
心より感謝しております。ありがとうございます。

今年も厳しい暑さが続いています、こまめな水分補給や休憩
を心がけながら、各チームとも安全第一で作業に取り組んでい
ます。おかげさまで、大きな事故やケガもなく、ここまで作業
を続けることができました。

そんな中、お客様から「暑い中ありがとう」と声をかけていた
だいたり、お飲み物をいただいたりすることもあり、皆様のお
心遣いが私たちの大きな励みになっています。本当にありがと
うございます。

これからも皆様に安心してお任せいただけるよう、仲間同士で
声を掛け合いながら、一つひとつの仕事に丁寧に取り組んでま
いります。

まだまだ暑い日が続きます。皆様もどうぞお身体に気をつけて
お過ごしください。今後ともよろしくお願いいたします。

草むしりチームリーダー 一同





頼れる仲間がいる心強さ



こんな時は、吉見さんの出番です！



チームリーダーの池です。今回、前号でもご紹介した画家のコケシスキーさんから、不用品処分のご依頼をいただきました。

この年末に活動の拠点を東京から高松市のご実家へ移されることになり、母屋のリフォームに伴って家財道具などを整理したいのご希望でした。

お見積りの際、神棚の撤去についてお話ししているうちに、「お人形もゴミとして粗末には扱えないね」という話になりました。

そこで私の頭に浮かんだのが、久米山墓地公園の吉見さんです。吉見さんは、久米山で仕事をする一方、神職としても活動されています。「それなら吉見さんをお願いできすよ」とご提案すると、お父様にも相談され、その場で「ぜひお願いします」とお返事をいただきました。

そして迎えたご祈祷の日。装束に身を包み、厳かに祝詞をあげる吉見さんは、いつも会社で会う姿とはまるで別人。「やっぱり本職は違うなあ」と感心しました。実はこの姿を一番楽しみにしていたの

は、お客様より私だったかもしれません(笑)。

今回改めて感じたのは、仲間吉見さんがいることの心強さです。神棚の撤去や人形の供養、井戸を埋める時など、暮らしに関わる仕事をしている、「そのまま片づけてしまおうではなく、きちんと手を合わせてからお願ひしたい」というお客様の気持ちに出会うことがあります。そんな時に、「大丈夫ですよ。私たちには頼れる人がいます」と言える。これは、とてもありがたいことです。

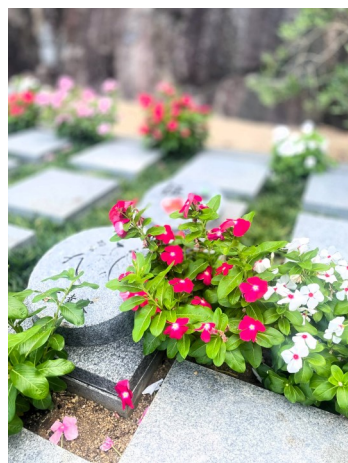
私たちには、それぞれに得意なことを持った仲間がいるからこそ、お客様のさまざまな「こんなこと、お願いできる？」というご相談にお応えすることが出来ます。

神棚の撤去や井戸じまい、人形供養など、「どうしたらいいだろう」とお困りのことがありましたら、どうぞ私たちに相談ください。

こんな時こそ、吉見さんの出番です。これからも頼りにしてまず、吉見さん！

草むしりチームリーダー

池 寛幸



今年の暑さに負けていません。元気に、きれいに咲いてくれている日日草です。

久米山墓地公園 やすらぎの杜 伏見さんの日報より



7月7日
植え替えした樹木葬のお花を見てきました

今日は、吉見さんとアルバイトの井内さんが園内の除草剤散布をしてくれました。私は、雨の日が続ぎ、なかなか足を運ばずにいたのですが、先日ようやく樹木葬のお花の様子を見に行くことができました。

これまで夏にはマリィゴールドを植えていましたが、成長すると背丈が高くなり、樹木葬の石板が隠れてしまったり、落ちた花びらが石板にくっついて取れにくくなったりすることがありました。

そこで遠山さんに相談し、暑さに強く、樹木葬にも合う別の花を提案してもらいました。



今年の夏のお花は「日日草(ニチニチソウ)」です。

マリィゴールドのオレンジや黄色の元気なビタミんカラーとはまた違って、赤や薄いピンク、白のかわいらしく涼しげな夏の彩りになっていました。

この日は雨の影響で落ちている花もありましたが、ニチニチソウは次々と新しい花を咲かせてくれるそうです。これからどんどん花が増えて、きれいに咲いてくれるのが楽しみです。

調べてみると、ニチニチソウには色ごとに花言葉があり、赤色は「楽しい思い出」、ピンクは「優しい追憶」、白色は「生涯の友情」だそうです。

毎日のように新しい花を咲かせるニチニチソウ。大切な人との楽しかった思い出や、優しく懐かしい記憶を思い起こさせてくれる花言葉を知って、樹木葬にとってもよく似合う花だなと思いました。



石清水八幡宮 としゆ
高松久米山やすらぎの杜 杜主
吉見 政晃

中谷石材には 神職を務める スタッフがいます!

皆様こんにちは、中谷石材の吉見政晃です。

中谷石材の一員として「やすらぎの杜」の管理をしながら、神職としても地鎮祭やお祓いなど、さまざまな神事を務めています。

私は神職の家系に生まれ、大学卒業後に神職の資格を取得しました。地元に戻ってからは、神社の仕事と並行して石清水八幡宮の「神明殿」で長らく勤務。その後、墓地公園の仕事に携わり、現在に至ります。

◆地鎮祭から安全祈願まで

神職の仕事で多いのは、夏祭りや秋祭りなどの祭事のほか、建物を建てる前に行う地鎮祭です。今年は公共施設やこども園など、大きな地鎮祭もいくつか続けました。毎年プール開きに合わせて、「事故がないように」と安全祈願をご依頼いただく施設もあります。

◆神棚のお祓い以外の

ご依頼をいただくことも

先日、若いご夫婦が古い住宅を改装して住まれることになり(詳しくは隣ページの池さんの記事をご覧ください)、神棚を撤去するための「神上げ」と、人形のお祓いをご依頼いただきました。

残された物の中にたくさん日本人形があり、「ただ捨てるわけにはいかないよね」ということで、お祓いすることになったのです。人形のお祓いでは「大祓祝詞」という祝詞をあげ、全体の穢れを祓ってから処分していただきます。私自身、人形のお祓いは今回が初めてでした。

◆「井戸じまい」の「神あげ」

古い井戸を埋める前の神事のご依頼には、毎年10件くらいは行ってきました。香川は昔から水があまり豊富ではなかったため各家庭に井戸が比較的多くありました。今では使われていない古い井戸も多く、埋める際には「神上げ」を行います。また、土地の売買に伴い、田んぼの横に残っていた小さな石の祠(「お塚さん」と呼ばれることもあります)を処分するため、拝みに伺ったこともあります。



◆墓じまいから納骨まで

中谷石材で働くなかで、石材の仕事と神職の仕事がつながることもあります。その

一つが、最近では月に2〜3件ほどある墓じまいです。本来はお寺の住職さんに来ていただき、お骨を拜んでもらってから墓じまいをしますが、お寺にお願いすることを負担に感じる方もいらっしゃいます。そうした場合には、宗教は神道になりますが、魂抜きや骨上げの神事を私がご奉仕として行わせていただいています。

また、その後にお骨を「やすらぎの杜」の永代供養墓へ納める場合には、納骨の際にも私が拝ませていただきます。

お墓の撤去、神事、そして納骨という一連の「墓じまい」を中谷石材だけで完結できるため、通常より負担が少なくいと喜んでいただくことは多いです。神職として、このようにお役に立てるのは嬉しいですね。

◆一人だけから

みんなで考える仕事へ

中谷石材に入社して、今年で4年目になります。それ以前は、ほとんどの仕事を一人で考えて進めていたため、行き詰まることもありました。

そんな時に、中谷石材から「一緒にやりましょう」と声をかけてもらったのです。現在は「やすらぎの杜」の運営もみんなで話し合い、アイデアを出しながら進めています。環境整備にも力を入れたことで、以前よりずっときれいになり、お参りに来られる方にも喜んでいただけるようになりました。

一人では思いつかなかったことも、みんなで考えることで形になっていく。そして、それがお客さんに喜んでもらえることにつながる。そういうところに仕事の面白さを感じながら、楽しく仕事をさせてもらっています。

永代供養墓【合同慰霊祭のご案内】

下記の通り、合同慰霊祭を開催いたします。



日時：9月18日(金) 午前10時より

場所：久米山墓地公園「やすらぎの杜」永代供養墓



と笑われながら、エアコンのある別室にご案内する日々です。

そこで工場からスポットクーラーを持ってきたり、一階の涼しい空気を扇風機で階段の上まで送ったりと、皆で知恵を出し合いながら何とか過ごしています。お客様には「大変ですね」と笑われながら、エアコンのある別室にご案内する日々です。

実はこの夏、私がいる二階の事務所のエアコンが壊れてしまいました。修理をお願いしたのですが、古い機種のため部品がなく、簡単には直らないようです。

お陰様です。
今年は本当に厳しい暑さが続いています。

今月の社長のコラム 扇風機の風に当たりながら思うこと

机の横には氷を入れたお茶を置き、ときどきその冷たさに手を当てながら仕事をしています。そんな毎日を過ごしていると、子どもの頃の夏を思い出します。

昔の夏を思い出しながら

あの頃はまだ、家庭にエアコンは普及していませんでした。扇風機を回し、夜は蚊帳をつって寝ていたものです。それでも夏は十分に暑いと思っていましたが、近頃のように35℃を超え、40℃に迫るような気温を耳にすることなど、ほとんどありませんでした。高校野球のテレビ中継では放送席に大きな氷柱を置いて暑さをしのいでいたことも思い出します。それで十分だった時代でした。

それが最近では、「昔も暑かった」という言葉だけでは片づけられない暑さになってきたように感じます。

当社には、石材事業部の施工をはじめ、草むしり事業部の草むしりや剪定、お墓掃除など、炎天下で作業をする社員がたくさんいます。今年も体調を崩さないよう、無理をしないこと

を一番に考え、人手が必要な時には外部の方にも力を借りながら、この夏を乗り切ろうとしています。

私は二階の事務所で暑い暑いと言っていますが、外で汗を流している社員たちのことを思うと、頭が下がるばかりです。

当たり前でないことへの感謝

エアコンが壊れて不便な思いはしていますが、そのおかげで、普段は気づかなかったことにも気づかされました。当たり前のように涼しい部屋で仕事ができることも、暑い中で働いてくれる仲間がいることも、決して当たり前ではないということです。



もうしばらくは
厳しい暑さが続きます
そうです。

皆様もどうかご無理をなさらず、水分補給と休息を十分に取しながら、残りの夏を元気に過ごしてください。
有難うございます。

社長 中谷明生



バレーボール送迎担当の終焉

社内報より ~次のステージへ

この6月、息子が高校最後の総体を終え、わが家の「子どものバレーボール人生が一区切りとなりました。娘2人、息子1人、3人とも小学校から高校までバレーボールを続け、その送迎たまに応援をしてきた日々も、これで終わります。」「長かったなあとホッとする反面、少し寂しさも感じています。子どもたちに刺激を受けて始めた超初心者バレーボールも、気づけば10年がたとうとしています。最近娘や息子も、時々一緒にプレーしてくれるので、これから「送迎する親」ではなく、「一緒に楽しむ仲間」として、新たなバレーボール人生を楽しみたいと思います。

本社チーム 渡邊

久米山墓地公園 やすらぎの杜

〒761-0312 高松市東山崎町1098

電話 087-847-4939

墓石営業担当 090-7624-5412(田尾)



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144

株式会社 草むしり岡山

本社 〒705-0015 岡山県備前市畠田670-1

直通携帯 090-4975-6349(朝倉)



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...

中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1

電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



やすらぎの杜



互恵便りQR



中谷石材HP